

1. 99 面的な課題とその観点

(1) いかに歩きたくなる街路空間を整備するかが、今までの道路と街路の設計は、交通量と基準に車中心の空間として整備されてきた①。しかし、健康・環境問題等への関心が高まり、人中心の空間へ転換が求められてきている②。また、我が国ではソーシャルキャピタル低下が懸念されている。歩きたくなる街路空間の整備によリ、人々の出会いと交流を促進③させるイノベーション創出の場としての役割④も求められはじめています。また、都市構造の観点⑤から歩きたくなる街路空間を整備するものが課題である。

- ① 「設計は・・・整備されてきた」になっており、主語述語がおかしいです。
- ② 「求められてきている」→「求められている」
- ③ なぜ、歩きたくなる街路空間を整備すると出会いや交流が促進されるのかが良く分かりません。もう少し説明が必要だと思います。
- ④ 何を伝えたいのか理解できません。
- ⑤ 都市構造の話が全く出てきていないのに、都市構造の観点と言われても釈然としません。「薄く広がった市街地」、「拡散した都市」など都市構造を語ったうえで、街路空間の再構築が重要である旨を説明すべきではないでしょうか。

(2) いかに脱炭素化を図るのか

都市部では、地表面が蓄熱体で覆われ、ヒートアイランド現象が深刻化している。居心地の良い歩行環境の形成には、熱環境の改善を図ることが重要である。また、ヒートアイランド対策の観点から脱炭素化を図ることが課題である⑥。

- ⑥ 脱炭素化とヒートアイランドは別問題です。

(3) いかに、都市機能を維持するが
我が国には、少子高齢化に伴い生産年齢人口が減少
し、将来的に77歳の自治体人口減少により、人口が
顕在化する。人口密度の低下により、都市施設が枯
弊し、都市街地内の公共交通等、生活の必要も都市
機能が失われ、カビリティの低下が懸念される。
よって、人口減少の観点から都市機能の維持が課題
である。

- ⑦ 「人口が減少し、・・・人口減少によるリスク」ねじれています。また、人口減少によるリスクが何か分かりません。
- ⑧ 文が長いです。「・・・によって、・・・では、」となっており、文が繋がっていません。また、都市機能は医療・福祉・子育て支援・教育文化・商業といったものがイメージされますので、公共交通が該当するか疑義があります。さらに、都市機能の喪失がウォーカビリティの低下にどうして繋がるのか説明する必要があります。
- ⑨ 人口減少の観点とはどのような立場なのか分かりません。
- ⑩ 維持と言われてしまうと現状と変わらないので、課題（やるべきこと）といえるのでしょうか。

2. 最も重要な課題とその解決策
上記の通り、歩行者が歩ける空間を整備する
ことが最も重要な課題の選定し、以下の解決策を示す。
(1) 滞在・交流拠点の整備
歩行者が歩ける空間創出のため、官民連携により都市
空間にオアシススペースを形成する。具体的には、行
政の観点から地味なメインストリートで歩ける空間を整
備する。例えば、道路の芝生や緑化施設の整備
により滞在しやすくなる場を確保する。民間事業者には
道路施設の低層部を公共空間として開放せよと主張
し、視覚的に歩ける空間を創出する。
また、道路占用特例として、歩行者専用ゾーンを設
置することで、人の滞在を促す。

- ⑪ なぜ官民連携なのか説明する必要があります。都市空間にオープンスペースを形成することで、なぜ歩きたくなる空間が創出されるのですか。都市空間ではなく、沿道にオープンスペースですかね。
- ⑫ 官民連携だといっているのに、具体例になると行政のやるべきことを説明していますよ。
- ⑬ 道路内に広場を整備するのですか？
- ⑭ 緑地で滞在は少し違和感があります。緑化の効果は景観形成ですかね。
- ⑮ 手段が欲しいですね。例えば、地区計画を定めるとか、総合設計制度を活用するとかを例示すべきです。
- ⑯ 「視覚的に歩いて楽しい」→「視覚的に楽しい」
- ⑰ ここをしっかりと書くべきです。ほこみち等の制度を説明して、官民連携や滞在空間の創出につなげていった方が、技術力の示唆になると思います。



- ⑱ 街路空間の整備ですか？
- ⑲ 移動時間が縮減するかは、目的地次第ではありませんか。
- ⑳ 目的地に早く着くことが、なぜ回遊性の向上につながるのですか。
- ㉑ 歩行者をサポートする公共交通とは何がしたいのか分かりません。
- ㉒ 「利便性を向上させ」→「利便性が向上し」
- ㉓ 公共交通が具体的ではないので分かりませんが、バス、鉄道であれば中長距離輸送機関なので、地域内の回遊性が高まるとの表現は違和感があります。
- ㉔ 整備してないですね。

(3) 駅を中心とした空間の整備

交通結節点を中心とした駅を中心とした周辺のありさまを一体的に整備²⁵し、居心地が良く歩きたくなるまちづくりを実現するための方法を書くべきです。結果と手段が同じになっています。²⁶

具体的に、駅前広場の高低差がある駅には昇降施設を整備し、段差を解消し、駅前広場のインフラを自由通路にする²⁷など、駅前広場から周辺施設までの導線もバリアフリー化する²⁸など、ユニバーサルデザインを向上させる。さらに、サイン標識やユニバーサルデザインを整備²⁹し、誰もが安心して移動できる空間を形成する。また、駅前広場においては、エレベーター型マルチエッジ³⁰など、移動手段が多岐にわたることを促進³⁰する健康的なライフスタイルの増進を図る。³¹

- ②5 どんな整備をイメージしているのか伝わってきません。周辺にある広場とは、既存の公園等を想定しているのでしょうか。市街地の再編をいつているのですかね？
- ②6 居心地が良く歩きたくなるまちづくりを実現するための方法を書くべきです。結果と手段が同じになっています。
- ②7 「周辺にある広場と一体的な整備」の具体例なんですよ。広場が一切出てきてないですよ。
- ②8 バリアフリーやユニバーサルデザインの話になっていますが、ここは広場と一体的な整備とは別の話になっているのですかね。話題を変えるのであれば、加えてという接続詞ではなく、一方で、他方で等を用いましょう。
- ②9 デザインは整備するものではありません。
- ③0 移動手段が徒歩でないのに、なぜ歩行が促進されるのか理解できません。飛躍しており、説明不足ですね。
- ③1 ライフスタイルの増進は違和感があります。

期待される波及効果及び新たな機会を創出する策

波及効果：地域内での滞在性・回遊性が向上することで、消費の拡大による経済的効果が期待できる。また、総合的なデザイン³²による公共空間の創出により、良好な景観が形成される等により、新たな効果がある。

- ③2 統一的なデザインの記述がありません。

懸念事項：方向性を十分に検証せず事業の推進を行う
場合 ^{③③} 設置物等の管理負担や受益負担及び費用対
効果が曖昧になることが懸念 ^{③④} される。
対応策：グリーンインフラの活用やまちづくり ^{③⑤} を
進め、人と設備の施策の位置づけ、整備率や滞留数
等の数値目標を設定する。また、関係者の共通認識を
より定量的な成果目標を定め、方向性の可視化を図り
PDCAサイクルにより事業の最適化を行う。以上

- ③ やるべきことをやらなかった結果としての懸念事項が、問われている解答なのか疑義があります。
- ④ 設置物が何か分からないことから、後述される費用等の効果が曖昧になることがどうして懸念事項として取り扱われているのか分かりません。
- ⑤ 前述の懸念事項が判然としないので何とも言えませんが、効果のうち費用に関するものを取り扱っているにも関わらず、グリーンインフラやDXといった取り組みがなぜ対応策になるのか分かりません。
- ⑥ PDCA サイクルは業務改善のマネジメント手法であり、最適化を行う手法ではないと思います。